

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2020
秋号

通巻：234号
発行：2020.9.25

特集

コロナ禍での中間支援の動き



コロナ禍での中間支援の動き

みえ市民活動ボランティアセンターでは、新型コロナウイルス感染症に関するNPO・市民活動団体等への影響の実態把握を行い、適切な支援や対応を行うことを目的に県内中間支援組織と連携をして「**新型コロナウイルス感染症拡大対策に関する緊急アンケート**」調査を行いました。



アンケートの結果報告

https://www.mienpo.net/news/questionnaire_covid2020/

アンケートでは、92.2%の団体から「活動に影響を受けている」と回答があり、**次のような課題**があげられました。

総会・理事会など
団体運営のための
会議ができない。

団体を運営する
ための必要な
会合がもてない。

オンラインでの
会議スキルがないと
今後についての
議論ができない。

対面での
参加ができない。

面談による
家族相談が
利用できない。

この結果を受け、みえ市民活動ボランティアセンターで、NPO・市民活動団体等の組織維持と活動再開を支援するため、**相談窓口の設置とIT（オンライン）活用支援事業**を実施しました。また、6月から県内5地域の中間支援組織も、支援窓口の設置とIT（オンライン）活用支援事業を開始しました。今回は、県内5地域での取り組みを紹介します。

各種相談窓口

県内NPO・市民活動団体等を対象として、活動再開や継続に必要な情報、資金調達、物資、オンライン等に関する相談への対応



オンラインでの会議や
イベント、ワークショップの
実施方法について



助成金・補助金など
資金調達について

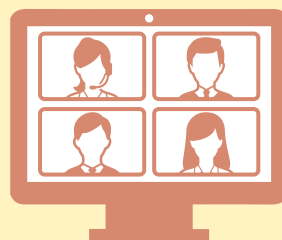


企業や団体、個人の
マスク・消毒薬・食糧等の
物資や資金提供について



IT活用支援

オンライン会議を実施したいと考えている団体を対象とし、Zoomの基本的な操作を知る「Zoom講座」の実施



県内各地域の取り組み紹介

北勢

認定特定非営利活動法人

みえきた市民活動センター

〒511-0088 桑名市南魚町86 TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733 Mail info@mie-kita.gr.jp

実施した
取り組み

- Zoom講座
- 各種相談
- 物資支援



支援を通して感じたこと

Zoom講座の需要は多いことが分かりました。ただZoom講座を開催するにあたり、各センターのインターネット環境の改善が急務であると感じました。

支援の工夫

桑名市、いなべ市、東員町の市民活動センターに協力依頼をしました。

支援対象からの反応

「今後もこのようなためになる勉強会を開催して欲しいです」「コロナがさらに感染拡大していますので、もし可能でしたら今後のセミナーはWEB参加も可能な形に頂けたらありがたいです」などの声がありました。

支援対象の変化

「オンライン上でのZoom体験の回を重ねることで参加者が増えてきている」という声がありました。

その他 特記事項 等

桑名ギタリスト倶楽部は、メンバーでZoom及びYAMAHAのNETDUEETTOでミーティングや演奏練習をされているそうです。現在、ボランティアで出張演奏を主な活動にしている団体は、練習もできないため、一つの方策として提案できるのではと感じました。マスクについては市民の方や桑名商工会議所女性部さんのご協力をいただき、30セット以上の寄付が集まりました。また、支援物資として提供していただいた砂糖計50袋を桑名市の子ども食堂団体の方々に配布しました。各種相談では三重県が実施した「NPO活動再開支援事業補助金」の申請相談を受けました。

四日市

公益財団法人

ささえあいのまち創造基金（四日市市なやプラザ指定管理者）

〒510-0045 四日市市蔵町4-17 TEL 059-357-1370 FAX 059-357-1371 Mail info@npo-naya.jp

実施した
取り組み

- Zoom講座
- 各種相談
- 物資支援



支援を通して感じたこと

マスク寄贈や寄付金が多かったことから、市民や企業の何か役に立ちたいという思い、意識の向上が感じられました。また、オンラインで活動するにあたり、ネット環境が求められ、特にwi-fi環境が各団体、施設共に整っていないように感じました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策が出来ず、未だ活動再開ができていない団体がたくさんあるのではと感じています。

支援の工夫

人材の支援として、人財ポケットを活用してオンラインセミナーのフォロー（Zoomフォロー）を行いました。

支援対象からの反応

収入が減少しているのに、無料で講座や相談が受けられるのはありがたいという声がありました。

支援対象の変化

対面で行われていた会議・打合せがオンラインも活用されるように変化しました。

その他 特記事項 等

新型コロナウイルス感染症が拡大し、外出の自粛や、会議、イベント等の開催自粛、密を避けるなど、多くの団体が活動に影響を受けています。そんな中でも、各団体が「今、何ができるのか」を考え、コロナ時代に対応し実践している団体がたくさんあります。これまでの活動を活かし、これからの活動も続けていけるように、一緒に考えていきたいと思います。

コロナ禍での 中間支援の動き 県内各地域の取り組み紹介

津

特定非営利活動法人

津市NPOサポートセンター（津市市民活動センター指定管理者）

〒514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 TEL 059-213-7200 FAX 059-213-7201 Mail center@tsushimin.org

実施した
取り組み

- Zoom講座
- 各種相談
- 物資支援

支援を通して感じたこと

Zoom講座…「Zoomを使ってみよう」「まずはやってみよう」という前のめりのスタンスで参加される方が多く、オンライン会議への注目の高さを感じました。

マスク寄付…マスクを必要としている方々と、「誰かの力になりたい」と思っている方々を繋いだことで、中間支援団体としての役割を大いに発揮できたと思います。

支援の工夫

Zoom講座…Zoomという新しい道具に少しずつ慣れてもらえるよう、なるべく初心者目線で、少しずつステップアップしていけるよう体験型の講座を進めていきました。

マスク寄付…マスクを配布する際には、時間や人員に余裕のない施設が多いため、こちらから配達に伺いました。また、匿名でマスクを寄付して下さる方が多かったため、寄贈の様子をSNSで逐一報告しました。

その他 特記事項等

- 個人等から届いたマスク…280枚、20,400枚
- 施設・団体等に届けたマスク…37枚、14,000枚
(いずれも8/15時点)



支援対象からの反応

Zoom講座…概ね好評で、Zoomの大まかな操作を理解できた、もっと練習して操作に慣れていきたいという前向きな声をたくさんいただきました。

マスク寄付…マスクを寄贈した団体には非常に喜んでいただけました。マスクを寄付して下さった方々も思いのこもったメッセージを添えて下さる方が多かったです。

相談…相談を受けた団体から三重県NPO班のNPO活動再開支援補助金が採択されたと連絡がありました。

支援対象の変化

Zoom講座…はじめは不安だった方も、連続講座の中で繰り返しZoomに触れることで少しずつ操作に慣れていき、後半の回では特にサポートがなくても自宅から一人でZoomに接続し、基本的な操作を行うことが可能になりました。

マスク寄付…マスクを寄付して下さる方はリピートして何度か寄付して下さる方もいました。

松阪

特定非営利活動法人

Mブリッジ（松阪市市民活動センター指定管理者）

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F TEL 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

実施した
取り組み

- Zoom講座
- 各種相談
- オンライン講座

支援を通して感じたこと

Zoomの勉強会に関しては予想をはるかに超える反響があり、驚いています。また、ある程度想定はしていましたが、参加団体の多くはZoomの扱い方の前に、PCやスマホなどの扱い方そのものに不安を抱えている人が非常に多く、市民活動の「IT化支援」の必要性を強く感じました。

支援の工夫

松阪地域では、参加者を一同に集める講座形式ではなく、PCやスマホに不慣れな人に寄り添ったきめ細かな対応ができるように個別（小規模）で対応しました。また、勉強会当日、スムーズにZoom支援を進行できるよう、メールの送受信やZoomアプリのインストールを事前にお願しました。（自身のメールの受信方法やメールアドレスのパスワードを忘れてしまう人もみえるため）



支援対象からの反応

Zoom勉強会は個別対応だったことで、細かい部分やZoomの扱い方だけに限らずPCの操作や設定などの相談も多く、日頃抱えていたIT系の不安が少し緩和されたようです。また、助成金申請に関する相談に応じた団体から、三重県のNPO活動再開支援補助金のほか、子どもゆめ基金などに初チャレンジした団体がそれぞれ採択されたそうです。

支援対象の変化

Zoom講座…新型コロナウイルス感染症の影響は今後もしばらく続くことが予想されるため、Zoomなどのオンラインツールを積極的に活用していこうという姿勢を感じるようになりました。

相談業務…資金面での不安はあるもののコロナ禍であっても活動継続のための資金調達は前向きになれる要素があると感じました。

その他 特記事項 等

松阪市市民活動センターでは、新型コロナの影響を受けたNPOのために「各種相談窓口」と「はじめてのZoom勉強会」以外に、7/29には「パワポdeチラシ作り講座」、8/7には「助成金申請のためのポイント勉強会」をそれぞれオンラインで実施しました。コロナ禍でも「新たな学びの場」を提供することができました。

支援を通して感じたこと

市民活動団体やNPOで活動をしている皆さんが、コロナ感染防止のため、普段から信念を持って行っている活動であるにも関わらず、身近な方々の健康を考え、その活動を自粛している姿は、とても真面目で、周りのことをしっかりと考えているのだと、とても感動しました。

支援の工夫

市民活動団体に消毒用アルコールを配布する事業は、最初独自に実施して、団体さん大変喜ばれました。そこで、三重県の事業を活用して第2弾として実施させてもらうことにしました。また、相談などは、コロナ対策のため、セミナー形式にせず、個別で行いました。



支援対象からの反応

市民活動団体に喜ばれた消毒用アルコールの配布は、第2弾の実施に向け準備しています。Zoom講座については、集団になることは避けて、個別セミナーとしたので、参加人数としては、少なくなってしまったかもしれませんが、安心して参加できたという声を頂きました。

その他 特記事項 等

地域の市民活動団体のメンバーの中には、経験豊富な方も多く、コロナ禍の中、とても印象に残った言葉があります。「戦争の当時は防空壕に隠れていた。今は、自宅にいればいいので、まだ楽やわ。」コロナの影響は、ある意味、非常に深刻で、私たちの生活に大きな影響を及ぼしているし、これからもまだまだ続きます。市民活動団体は、ますます共に手を携えて地域づくりについて考えていかないと感じています。

支援対象の変化

緊急事態宣言が出た頃は、とにかく自粛といったムードであったが、事業後半くらいから、多くの団体が、新しい形の活動を模索するようになったと思います。Web会議なども少しずつ増えているようであり、コロナの後になっても導入をしたいという団体も増えてきています。

支援を通して感じたこと

地域のNPO・市民活動団体が抱える課題をていねいに聴き、中間支援組織として何ができるのか、他セクターと連携することでどう解決できるのかを見出すスキルと情報の必要性を、コロナ禍の状況のなか再認識しました。オンライン講座については、必要性を感じている団体が多くあること、必要性は感じているが不安に感じている団体があることを実感しました。また、少人数の参加者数で実施するなど、一人ひとりに向きあい対応する必要性も痛感しました。

支援の工夫

多様な相談内容、オンライン講座の企画実施にあたり、他県の取組状況の把握や、みえ市民活動ボランティアセンターがもつ資源やネットワークなど強みを活かして県域の市民活動センターとして何が提供できるのかを整理、検討しました。



支援対象からの反応

コロナ禍において団体のもつ課題を相談できる場があることへの期待と、団体の持つ課題やニーズを行政に伝えてほしい、という要望などがありました。特に物資や資金の相談が多く、情報提供をしました。オンライン講座の問合せについては、みえ市民活動ボランティアセンター及び県内各地で行われる講座の案内をしました。オンライン講座については、少人数対応での実施の評価が高く、継続実施の希望が多々ありました。

その他 特記事項 等

地域でのオンライン講座の必要性と重要性を実感することができました。会議やイベントの中止によりメンバーや地域住民とのコミュニケーションがなくなっているなか、オンライン講座の実地での顔を見てのやりとりが、思ったより手軽にでき、今後の重要なコミュニケーションツールになることを、参加者は体感されたようです。

支援対象の変化

対面の会議が実施できないことから、オンライン講座に参加した団体は、組織内で研修や勉強会を実施したいといった声を多くいただきました。

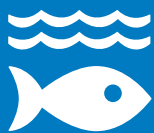
NPO・市民活動団体等への新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、継続的な支援が必要とされています。みえ市民活動ボランティアセンターでは今後も、県内中間支援団体と連携して取り組みを継続したいと考えています。

海の豊かさを守ろう



海は生命の源であり、地球の表面積の約71.1%を占めています。また、地球の水の約97.5%を占める海水は蒸発して雲となり、雨を降らせることによって私たちが生きていく上で欠かせない水を提供してくれています。しかし今、私たちはそんな海の「豊かさ」を破壊してしまうような多くの問題を抱えており、中でも、プラスチックごみが海洋生物や海洋環境に悪影響をもたらす「海洋プラスチック問題」が特に問題視されています。海洋ごみは、約7～8割が都市からの発生で、問題が深刻化すれば、2050年には魚の数よりも海洋ごみの数の方が多くなると推定されています。沢山の人のポイ捨てが、こん

なにも深刻な問題を引き起こしてしまったのです。そこで私たち人間は、環境教育をしたり、紙製のストローの使用を推奨したり、日本でもレジ袋を有料にするなどして海洋プラスチック問題に対する取り組みを行っており、世界各国が協力し合って、人間にとっても、海洋生物にとっても、美しく豊かと言える海を取り戻そうと努めています。このようにして「海の豊かさを守る」ために国家が動き出すだけではなく、私たち一人一人が問題に対して向き合い、ごみを海や川などに捨てないようにすることが海洋プラスチック問題を解決する「鍵」となってきます。



14. 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

三重県には、中高生らが伊勢湾の生き物たちを自ら守るために発足した海洋環境保全団体「鈴鹿中学・高等学校SOM(以下、SOM)」という団体があります。三重県私立鈴鹿中等教育学校の有志メンバー約25人で、海洋ゴミ問題の解決のために、地味な活動から面白い活動まで様々な活動を行っています。SOMの活動内容は大きく分けて2つ。鈴鹿市での海岸清掃と環境イベント、幼稚園などの場で、SOMが造ったロボットを使った環境教育も行っています。ロボットの種類は、伊勢湾に生息している「ハセイルカ」や「スナメリ」といったイルカの仲間や、産卵のために伊勢湾を訪れることも多い「アカウミガメ」、出世魚として知られる「スズキ」といった魚などジャンルはさまざま、現在どんどん増えつつあります。こうしてロボットを作ることには理由があり、「ロボットを通じて海の豊かさや海の生き物を身近に感じてほしい」という思いや、「それを通して、海にごみを捨てないことの大切さを知ってほしい」といった願いが込められているからなのです。そうした活動が功を奏したのか、SOMは2019年に行われた第8回イオン エコワングランプリにおいて第1位に輝き、「内閣総理大臣賞」「ベストプレゼンテーション賞」の2つの賞を受賞し、その他にも数々の功績を残しています。また、SOMは株式会社 鳥羽水族館とコラボして「答志島『奈佐の浜』クリーン大作戦in鳥羽」といったイベントを行ったこともあり、様々な活動を積極的に実施・参加しているのです。そんなSOMのメンバーの皆さんは「活動を楽しむ!」「遊び心を忘れない」をモットーに、伊勢湾の豊かさを守るための活動に取り組んでいます。「海が大好き。だからこそ、そんな海を守りたい。」という思いで結成されたSOM。SOMは、現在世界的に問題視されている海洋プラスチック問題に目を向け、美しい海岸や海の生き物たちを、さまざまな人と協力し、皆さんと力を合わせて守っています。SOMは、ほんの数年前に発足したばかり。この先の活動に注目が集まること間違いなしです。

(参考:<https://savetheoceanmen.wixsite.com/suzuka6-som>)

今号は三重県で活動する「鈴鹿中学・高等学校SOM」にSDGsと団体の活動について執筆していただきました。ご協力いただきありがとうございました。



三重県からのお知らせ



新しい生活様式に即した NPO 活動を支援します！ —活動の再開・継続、オンライン活用—

みえ市民活動ボランティアセンターでは、令和 2 年 4 月 16 日（木）から令和 2 年 4 月 30 日（木）にかけて県内 NPO・市民活動団体等に対して行った緊急アンケート調査を基に、中間支援組織と連携して、NPO の組織の維持と活動の再開に向け、必要な情報やノウハウの提供、きめ細かな相談や助言など適切な支援を行ってきました。また、オンライン活用支援として Zoom セミナー等を各地で実施してきました。

相談窓口では、資金や物資に関するご相談が多く寄せられ、資金については助成金やクラウドファンディングを、物資については市民や企業からの寄付とのマッチングをご活用いただきました。

オンライン講座では、パソコンの設定方法から Zoom を活用した内部会議の仕方などをお伝えし、「できなかった内

部会議ができた」「利用者の顔を見ながら支援ができた」「支援者の輪が広がった」といった声をいただきました。

コロナ禍によって、NPO も新しい生活様式に即した活動が求められ、どの団体も試行錯誤しながらどう効果的に活動できるかを模索しています。IT 活用は魔法の杖ではありませんが、活動の幅や可能性を広げてくれる手段の一つです。

些細なことでもお気軽に無料でご相談いただけますので、各地の相談・支援窓口をぜひご活用ください。

事業の詳細
はこちらを
ご覧ください。



相談方法

みえ市民活動ボランティアセンター

みえきた市民活動センター

四日市市なやプラザ

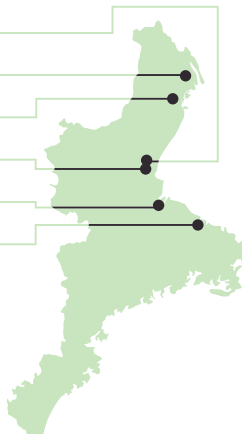
津市市民活動センター

松阪市市民活動センター

いせ市民活動センター

にて相談を受け付けています。

相談
無料 お近くのセンターをご活用
ください。



コロナウイルスで事業が・・・

事業を実施するのに物資を集め
たいけれど・・・

IT を活用して事業を行いたいけど
よくわからない・・・

Zoom を使ってみたいけども
不安・・・



お問い合わせ先

みえ市民活動ボランティアセンター

TEL 059-222-5995

FAX 059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

新着

図書紹介

| New books /

📖 書籍 👤 著者

📖 スペースキーで見た目を整えるのはやめなさい〜 8 割の社会人が見落とす資料作成のキホン〜

👤 四禮静子

📖 働き方 5.0

👤 落合陽一

📖 心を病んだらいけないの？ うつ病社会の処方箋

👤 斎藤環、與那覇潤

📖 社会に挑む組織のガバナンス ― 理事・評議員・監事の役割を最大限発揮するために
(「ソシオ・マネジメント」第 9 号)

👤 川北秀人

📖 支援・評価・助成の、基礎と戦略 (「ソシオ・マネジメント」第 10 号)

👤 川北秀人

📖 自社と社会の持続可能性を高める経営者のために
ベスト・プラクティスから学ぶ CSR マネジメント

👤 川北秀人

📖 世界地図を読み直す 協力と均衡の地政学

👤 北岡伸一

📖 デジタル・ミニマリスト：本当に大切なことに集中する

👤 カル・ニューポート、池田真紀子（訳）

📖 職業は武装解除

👤 瀬谷ルミ子

📖 想像ラジオ

👤 いうせいこう



こちらの QR コードから
「新着図書」の詳しい情報
をご覧ください。



インフォメーション

information

妄想世界旅行～島しょ国編～を開催します！

一緒に妄想世界旅行へ出かけましょう！

今年のテーマは「島しょ国」ということでフィリピン・パラオの方々を講師に、文化・生活についてなど身近なところから環境・SDGsといった深い内容までお話していただきます。

最後には、2021年に志摩市で開催される太平洋・島サミットについても触れます。

異文化について楽しく学べる機会です！

ぜひご参加ください！



日 時 2020年11月21日 (土) 13:30～16:30

場 所 オンライン (Zoomを利用)

対象者 外国の文化・語学に興味のある方

参加費 無 料

詳細・お申込みは
QRコードより↓



みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム 間もなく申請開始！



三重県内を拠点に活動する市民活動団体さんに、寄贈手数料のみで再生パソコン等を寄贈します。

2020年度の申請期間は10/17～1/11です！奮ってご応募ください。

問合せ みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム実行委員会
reuse-mie@sub.eparts-jp.org

カメラ・マイクの貸し出しを始めます！

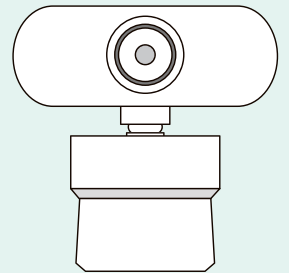
「オンライン会議をしたいけれど、パソコンにマイクがついていない…」

「カメラ無しのZoom会議は寂しいなあ…」

オンライン会議が盛んに行われている昨今ですが、カメラやマイクは安価とは言えず準備が大変ですよね。

そんな方々にも気軽にオンライン会議を実施してほしいという思いから、みえ市民活動ボランティアセンター館内でご利用いただけるカメラ・マイクの貸し出しを始めることにしました！

開始時期は現時点で未定ですので、しばらくお待ちください。



三重NPOグランプリを開催します！

今年も三重NPOグランプリを開催します。

本選は12月に実施予定です。詳しい募集内容はみえ市民活動ボランティアセンターHPやSNSをご確認ください。

皆さまのご応募お待ちしております。



みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津3階

最新情報を随時更新しています。フォローよろしくお願いします！

TEL 059-222-5995

FAX 059-222-5971

MAIL center@mienpo.net

HP



Facebook



Twitter



みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として
最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

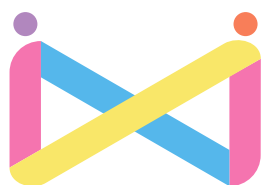
※ただし、当行所定の審査の結果、
ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



“地域とともに みなさまとともに”
三重銀行

全ての
問い合わせ先
申込み先



みえ市民活動ボラン



はじめに

みえ市民活動ボランティアセンターは、2001年にできたみえ県民交流センター内にある地域や分野を越えた市民活動・ボランティア活動のためのキーステーションです。

施設を利用するにあたって必要なルールを含め、利用する市民の手でつくってきました。

みえ県民交流センターは2009年から指定管理者制度を導入し、民間（NPO法人みえNPOネットワークセンター）による管理・運営に委ねられました。

団体登録

みえ市民活動ボランティアセンターを団体として利用する場合は、あらかじめ「団体登録（無料）」を行なって下さい。団体区分など、詳しくは下記をご確認ください。

団体区分		例
営 利	企 業	有限会社、株式会社など
非 営 利	行 政 非 営 利 法 人 ボ ラ ン テ ィ ア 市 民 活 動 団 体	行政、財団法人、社会福祉法人、社団法人、 学校法人、労働組合、生活共同組合、ボラ ンティア団体、市民活動団体、同好会、 NPO法人 など



センターの設置目的に合わない場合は、利用をお断りすることがあります。

- 営利を目的とするもの。（店のチラシや求人広告の印刷・配布、販売・勧誘など）
- 政治上の主義を推進また支持するもの。（政党が主催する催しのチラシの印刷・配布、特定の候補者の支持活動など）
- 宗教の教義・思想を広め、儀式行事を行い、信者を教化育成することを目的とするもの。（宗教の布教活動など）
- 個人の都合による目的のもの（年賀状の印刷など）
- 人権やプライバシーを侵害する恐れがあるもの。
- 施設、設備機器等を損傷する恐れのあるもの。
- その他、センターの設置目的である「県民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動」に反すると認められるもの。
- 楽器、歌、ダンス、武術などの練習を目的とするもの。
- 他人に迷惑をおよぼす行為。

どんなふうに 使えるの？

市民活動に 関する相談

NPO法人格の取得やNPOの運営やボランティア活動に関してのご相談に応じます。

● NPO法人の認証に関しては…
三重県ダイバーシティ社会推進課NPO班
【問】059-222-5981
（月～金／9：00～17：00）

会議 講演会 展示会

会議や研修会のほか、展示会や講演会、講習会などの催し物会場として利用できます。



情報 収集

チラシ・ポスターコーナー、ホームページへのイベント情報掲載などを利用して、ボランティア募集、各種イベントなどに関する情報を集めることができます。

会報や チラシの 印刷など

印刷機や紙折り機、作業機を使用して、会報やチラシづくりなどに利用できます。コピー用紙は持込みか、受付で購入することもできます。

※機材の予約はできません。



ティアセンター

…を 活用しよう!



施設を
予約
したい

みえ市民活動ボランティアセンターには予約して利用可能なスペースとして、交流スペース、交流スペースA、ミーティングルーム(A・B)、イベント情報コーナーがあります。
交流スペースAとはテーブル番号(6)～(8)を合わせて利用する場合を言います。

※すべて税込

団体区分	予約可能な期間	予約可能スペース	1時間あたりの料金
営利団体	6か月前から	交流スペースA	2,080円
		ミーティングルームA	1,040円
		ミーティングルームB	1,040円
非営利団体	6か月前から	交流スペース ※各テーブル	無 料
		交流スペースA	310円
		ミーティングルームA	310円
		ミーティングルームB	310円



交流 スペース

①来訪、②電話、③メール、④FAX、⑤郵送いずれかの方法で予約して下さい。
・交流スペースA利用時のみ**使用申請書**が必要です。

ミーティング ルーム (A・B)

事前に使用申請書の提出が必要です。各部屋
の定員は20名です。会議、勉強会、趣味の活
動などは交流スペースをご利用ください。特別
な事情がある場合は、ご相談に応じます。

イベント 情報 コーナー

①来訪、②メール、③FAX、④郵送いずれかの
方法で予約して下さい。
50～80名の大規模なイベントは、「おしごと
広場」が休みの**土・日・祝祭日のみ**使用で
きます。
・非営利団体は6か月前から予約可能です。
・事前に**使用申請書**の提出が必要です。
・展示利用は**展示利用届**の提出が必要です。

申請書のダウンロードや施設
利用の詳細はQRコードより
ご確認ください。



- 施設利用料金を減免する場合があります。 ※「施設利用料金減免申請書」が必要です。
- 予約のキャンセル・変更は必ずセンターまでご連絡ください。
- 有料利用で当日キャンセルの場合、使用料の100%を申し受けます。

● 印刷機・コピー用紙

※すべて税込

印刷機	製 版	1 枚: 50 円
	インク代	10枚: 10 円
コピー用紙 (500 枚 単 位)		A3サイズ: 770 円 B4サイズ: 560 円 A4サイズ: 410 円 B5サイズ: 300 円

● 印刷のときに役に立つ機材

※すべて税込

紙 折 り 機	使用料 1 回: 450 円
製 本 機	使用料 1 冊: 50 円 ※くみ製本をする のり代 1 冊: 10 円 ときの力バーはご 持参ください。
裁 断 機	無 料
カラーコピー機	白 黒 1 枚: 10 円 カラー 1 枚: 50 円



NPO等非営利法人専用

ソーシャルビジネス サポートローン

東海ろうきんは社会的課題に取り組む非営利法人を支えます。

無担保

変動金利

年1.5% (保証料込)

有担保

変動金利

年1.0% (保証料込)

ソーシャルビジネス サポートローン 商品概要

ご利用いただける法人

東海3県内に事業所を有するNPO法人、社会福祉法人、公益法人(社団法人、財団法人)で下記条件をすべて満たす法人。

- 1) 特定非営利活動法人として法人登記されているNPO法人。社会福祉法第22条に規定する社会福祉法人、もしくは、行政庁から公益認定を受けた公益法人(社団法人、財団法人)。
- 2) 法人活動実績が2事業年度以上あり、かつ法人格取得後1事業年度以上の決算が確定している法人。

用途

【運営資金】人件費・諸経費の支払資金、パソコン・備品などの購入資金、仕入資金、納税資金、買掛金・未払金・支払手形の決算資金等
【設備資金】事務所・作業所・店舗・会館等の建築・改装資金等及びその敷地の取得資金、事務所入店保証金・権利金・敷金、機械設備・車輛・船舶等の購入資金、従業員宿舍・厚生施設建設資金等

ご融資額

担保	融資方法	NPO法人	社会福祉・公益法人
		1,000万円以内	1,000万円以内
無担保	証書貸付	3,000万円以内	3,000万円以内
	手形貸付※2	5,000万円以内	1億円以内
有担保※1	証書貸付	5,000万円以内	1億円以内
	手形貸付※2	5,000万円以内	1億円以内

※1 上記金額と担保評価80%のいずれか低い額を限度額とします。

※2 手形貸付は「地方公共団体の指定管理者制度に基づく事業等」に係る融資のみとします。

ご返済期間

担保	融資方法	設備資金※3 (据置期間1年以内を含む)	運営資金 (据置返済はご利用できません)
		10年以内	3年以内※4
無担保	証書貸付	1年以内	1年以内
	手形貸付	20年以内	3年以内※4
有担保	証書貸付	1年以内	1年以内
	手形貸付	1年以内	1年以内

※3 融資対象設備の減価償却期間内とします。

※4 東海ろうきんとの取引状況によって、5年以内(据置期間なし)とする場合もあります。

ご返済方法

- 証書貸付……元利均等返済、または元金均等返済
- 手形貸付……期日一括返済(利息一括前受)

※据置期間中は利息のみ毎月返済いただきます。

金利(保証料込)

担保	融資方法	証書貸付	手形貸付
		変動金利 年1.50%	変動金利 年1.50%
有担保	証書貸付	変動金利 年1.00%	変動金利 年1.00%
	手形貸付	変動金利 年1.00%	変動金利 年1.00%

担保(有担保の場合)

- 1) 当金庫定期預金
- 2) 不動産

保証人

(一社)日本労働者信用基金協会による保証を受けていただきます。無担保・有担保を問わず、原則、当該法人の代表者の方に連帯保証人となっていただきます。預金担保の場合は、(一社)日本労働者信用基金協会による保証は不要ですが、担保提供者の方に連帯保証人となっていただきます。

保証料

- 無担保……証書貸付 年0.70%(月次後払)
手形貸付 年0.40%(一括前払)
- 有担保……証書貸付 年0.36%(月次後払)
手形貸付 年0.28%(一括前払)

※保証料率は金利に含まれています。

証書貸付手数料 (2019年10月1日以降)

- 無担保……融資額の1.10%(税込)
- 有担保……融資額の2.20%(税込)

※手形貸付は手数料不要です。



◎融資金利・融資条件等については、金利環境等により変更する場合がございます。◎お借入れ金利は、お申込み時ではなく実際にお借入れいただく日の金利が適用となり、お申込み時の金利と異なる場合がございます。◎返済金は東海ろうきんホームページ(ローンシミュレーション)で試算いただけます。◎審査の結果等によっては、ご利用いただけない場合もございますので、予めご了承ください。◎詳細につきましては、店頭に商品概要説明書をご用意しております。

2019年8月1日現在



季刊誌「READER」の広告を募集しています

みえ市民活動ボランティアセンターでは、季刊誌「READER」に広告を掲載していただける企業・団体等を募集しています。季刊誌「READER」は年4回それぞれ1万部を発行しており、企業・行政・大学・NPOなど幅広く配布している冊子です。お申し込みは随時受け付けています。広告掲載を希望される方は、最下部の問い合わせ先までご連絡ください。

1 発行スケジュール

夏号 ...6 月、秋号 ...9 月、冬号 ...12 月、春号 ...3 月（いずれも 25 日に発行）

2 広告・協賛 掲載位置及び規格

種別	掲載位置	規格	内容	料金
広告（A4）	1 ページ	A4 サイズ	広告主が制作の広告。 または、写真や文字などの原稿提出後、デザイナーが作成。	下記参照

広告（A4）の料金について

種類	料金	内容
三重県内のNPO法人	25,000 円/ページ	NPO法人が行う特定非営利事業に関する内容
三重県内の 市民活動センター等	35,000 円/ページ	市民活動（支援）センターに関する情報発信など
三重県内の企業、行政	55,000 円/ページ	CSR、CSV、社会貢献的な内容、助成金など

※広告主が制作した広告（デザイン）を掲載する場合は、上記の金額から 5,000 円引きとなります。

※原則 1 団体 1 号につき 2 ページまでとなります。ただし、空きがある場合はこの限りではありません。

3 問い合わせ先

みえ市民活動ボランティアセンター

（指定管理者：特定非営利活動法人 みえ NPO ネットワークセンター）

〒514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階

電話 059-222-5995 FAX 059-222-5971

Email：center@mienpo.net



詳細については
こちらをご覧ください

助成金情報

① 締切・募集期間 ② 対象 ③ 助成額／表彰内容

経済産業省／中小企業庁／家賃支援給付金

- ① 2021年1月15日(金)まで
- ② Ⅰ NPO法人などで新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、2020年5月～12月の間で前年同月比で事業収入等が次のいずれかにあてはまること。
Ⅱ 50%以上減少した月(対象月)がある。Ⅲ 前年同月比で連続する3か月の合計が30%以上減少した月がある。
- ③ 事業を営むために賃貸借契約を結び、賃料の支払いをおこなっていること。等
- ④ 法人は上限600万、個人は上限300万

(公財)愛恵福祉支援財団／新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会福祉活動「緊急助成」

- ① 2020年10月1日(木)～10日(土)
- ② 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、NPO法人や任意団体等が実施する、緊急な対応を迫られている地域や施設の社会福祉活動や社会福祉施設等の事業等。
- ③ 1事業50万を上限

(公財)楽天未来のつばさプロジェクト支援(団体向け支援事業)

- ① 2020年9月1日(火)～10月30日(金)
- ② 児童養護関連プロジェクトで、子供の権利擁護、子どもの最善の利益に資するテーマや内容の活動であること。
- ③ 1団体の上限30万円

(公財)SOMPO福祉財団 NPO基盤強化資金助成／組織および事業活動の強化資金助成

- ① 2020年9月1日(火)～10月9日(金)
- ② 社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人・社会福祉法人で2022年3月までに完了する事業。
- ③ 1団体70万円を上限(総額1,000万円を予定)

(一財)セブンイレブン記念財団 2021年度 環境市民活動助成

- ① 2020年10月1日(木)～10月21日(水)／2020年10月26日(月)～11月16日(月)
- ② 環境活動などに取り組むNPO法人、任意団体等
- ③ 「花と緑の助成」: 上限50万、「清掃助成」: 上限30万／(活動助成): 上限100万、(NPO基盤強化助成): 上限400万

(公財)ヤマト福祉財団 障がい者福祉助成金

- ① 2020年10月1日(木)～11月30日(月)(当日消印有効)
- ② 障がいのある方の幸せにつながる事業・活動(1.会議・講演会、2.ボランティア活動、3.スポーツ活動・文化活動、4.調査・研究・出版)のいずれかに取り組む団体や福祉事業所。
- ③ 助成総額1,000万円

みえ市民活動ボランティアセンターのホームページでも助成金などの情報を発信、更新しております。



認定した 特定非営利活動法人 (2020年5月10日～2020年8月9日認定分)

① 法人名 ② 主たる事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

- ① 特定非営利活動法人 Syounai種まきプロジェクト
- ② 鈴鹿市西庄内町4763番地の1
- ③ 保健、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、子ども、地域防災活動、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2020/5/11
- ⑤ 理事長 野崎 由夏子(のざき ゆかこ)

- ① 特定非営利活動法人 さくらプラス
- ② 名張市つづじが丘北6番町1番地
- ③ 保健、社会教育、子ども
- ④ 2020/6/22
- ⑤ 理事長 末永 伸吾(すえなが しんご)

- ① 特定非営利活動法人 鈴花
- ② 鈴鹿市土師町616番地2号
- ③ 保健、まちづくり、観光の振興、学術、環境、地域安全、人権、男女、子ども、経済活動、職業能力
- ④ 2020/7/13
- ⑤ 代表理事 石川 智美(いしかわ ともみ)

- ① 特定非営利活動法人 子どもの自立を支援する会・くれよん
- ② 四日市市上海老町字東大沢1648番地90
- ③ 保健、社会教育、人権、子ども、職業能力、その他
- ④ 2020/5/18
- ⑤ 理事長 前田 光久(まえだ みつひさ)

- ① 特定非営利活動法人 元気な笑顔
- ② 四日市市大字茂福2310番地4
- ③ 保健、社会教育
- ④ 2020/7/13
- ⑤ 理事長 橋本 禮次郎(はしもと れいじろう)

- ① 特定非営利活動法人 輪合村
- ② 津市藤方2138番地26
- ③ 保健、まちづくり、環境、国際、経済活動
- ④ 2020/7/30
- ⑤ 代表理事 カウル グルジャンヌ

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】〈津 市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 〈桑名市〉桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市なやぶラザ/四日市大学 〈亀山市〉亀山市市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市市民活動センター 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇學館大学 〈志摩市〉阿児アリーナ/横山ビクターセンター 〈名張市〉名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザイン 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

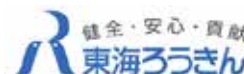
【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。